厚生

望山荘の利用者は横ばい

4月から町直轄運営となった。1月平均利用者は16年220・1人、17年222・6人と増加しており、4月単月の比較は17年4月は1日平均利用者は227・8人、今年4月は224・5人と横ばい状態である。

新予防給付を開始

志免町で新予防給付の対象となった件数は、4月41件、5月28件で計69件。包括支援センターもスタートしたばかりで、軌道に乗るにはもうしばらくかかりそうだ。

シルバー人材センター棟に亀裂

建物の一部にすき間とひび等が生じたとの報告を受け現場視察を行った。

基礎の部分のずれはなく、土間コンの収縮が2センチほど起こり、すき間等が生じたとのこと。

瑕疵担保期限は来年3月までで6月6日までに修復を図るとのこと。

要因なり見解について業者から報告を取るよう指示をし、血税を使った施設であり、行政の業者に対する毅然とした対応を強く要請した。

地球温暖化対策

実行計画の原案を来年2月までに策定し、委員会で検討、確定する。

事業所用ごみ袋の町への収入は0

粕屋の他市町では事業所用ごみ袋は自治体が製作販売し収入となっているが志免町では収集業者が製作販売しており、町への収入はない。十分精査し、来年度に向けて何らかの対応を要請した。

保育園1園を平成20年度に民営化

計画として平成20年度に1園、22年度にさらに1園を民営化。西小校区が人口増地域で保育園の敷地や建物面積も広く定員増にも対応できる別府保育園を民設民営化する。

今後、職員組合への説明、町内会長への説明、園の関係者、保護者等との協議をしながら実施計画を策定し、10月以降保護者への説明会を開始する予定。

的確な資料作成に全力を挙げ、説明不足、情報不足による混乱なり不信の状況だけは回避するよう指示した。

写真　別府保育園の七夕まつり

学童保育の待機状況

6月5日現在で西29人、中央9人、東と南は0。

中央学童保育は新学童保育所が完成すれば解消されるので西学童保育の対応策を強く要請した。

また、「文部科学省と厚生労働省の放課後対策事業の連携について」の通知があり、今後、影響が及ぶことにもなり、委員会としても注視していきたい。

視察報告

京都府城陽市は保育園民営化が充実した資料によって計画的に展開されていた。滋賀県野洲市の子育て支援センターは建設費の一部を行政が融資し民間の保育園を建設させ、市が一部を借用し運用している。また、学童保育は6年生までが対象で保護者負担は月1万円。社会福祉協議会へ委託しているとのこと。所管課も同行し、その成果を生かしていきたい。

議会最終日報告

平成18年度国民健康保険補正予算（1号）

1億7、100万円を増額し、総額を41億1、155万円とするもの。医療費が16年度より2億1、859万円の増となり、健康づくりに全力を挙げることを要請。

全員賛成

平成18年度一般会計補正予算

証明書の広域自動交付機設置については疑問や遺憾の声も多く出た。

賛成少数で否決

平成18年度国民健康保険補正予算（2号）

運動指導業務委託料として住民課が105万円計上していたものを健康課の一般高齢者事業の一環として予算化したため、住民課として予備費に歳出を変更した。

全員賛成

臨時議会

4月25日に第2回臨時会が開催され、規約1件、条例4件、補正予算2件の計7議案が上程され慎重審議の上、全議案可決されました。

補正予算

旧国鉄跡地対策費　1、080万円

●竪坑櫓周辺の草刈委託料　50万円

●安全対策フェンス工事　1、000万円

●設計委託料　30万

障害者自立支援等諸費　165万円

障害程度区分認定審査会の委員報酬と費用弁償

賛成多数

条例の改正

総合福祉施設「シーメイト」条例の一部改正

シーメイトに新しくピアノを設置するに当たり、グランドピアノ使用料1時間500円を加える

全員賛成

障害程度区分認定等審査会の委員定数条例

障害者自立支援法による審査会の委員定数を5人以内とする

全員賛成

志鉱跡地対策特別委員会

竪坑櫓と周辺の土地を無償譲渡払い下げ

「独立行政法人新エネルギー産業技術総合開発機構」との間で契約調印し、登記を終了したと報告。

櫓の保険金20万9、000円。対人対物を保障するもので、地震や台風での事故については対象外。議員や町職員は公務中の場合、管理責任者ということで対象外。災害に遭った場合は、公務災害補償で対応するとのこと。

ボタ山すそ野の無断使用の取り扱いについてや、東区町内会老人クラブからボタ山の使用願いが提出された場合は3町のボタ山開発推進協議会で検討することにした。

子どもたちの活動の中核となる場所とは

二宮　美津代　議員

二宮　子どもたちが色々な活動を企画し運営する場所の考えを示してもらいたい。

子育て課長　既存の公共施設を活用して、次世代を担う子どもの居場所を提供したい。

二宮　具体的な事例を。

町長　坂瀬共同利用施設を児童館として、子どもたちの居場所づくりにできないか検討し、一年間試行をしてみて検証したい。

二宮　公有財産の有効利用について、問題点はないのか。

助役　坂瀬共同利用施設を中高生の居場所づくりに転用するためには、補助金等整理する必要はあるが、試行後方向を定めたい。

二宮　志免町子ども権利条例策定の日程は。

子育て課長　現在条文も含め骨子案をつくり、パブリックコメントを実施し上程する予定です。

二宮　川崎市では子どもの権利条例に基づき、こども夢パークが実現している。志免町でもその構想があるのか。

町長　子どものための権利条例であり、子どもたちが健やかに育まれるよう、その環境となることを目指した条例としたい。

二宮　地域子ども教室の新たなとりくみとは。

子育て課長　地域ボランティアとしてリーダー、指導員の人材登録をしていただく、そのための会議をPTA、体育協会、文化協会、老人会、子ども会等の団体によびかけたい。

一般質問のは会議録にもとづき議員個々の自由編集で掲載しております。

写真　こどもの居場所づくり